

## 職員による自己評価

## 保護者による評価

**A. 環境・体制整備**

安心・安全を優先課題として、飛び出し防止用外柵を新設置し安心確保強化を行った。又、1階指導訓練室にコロナ対策を兼ね室内パーテーションの新設置を行い屋内空間の密集回避とスペースの有効活用を図った。今後も安全確保に必要なハード類は可能な限り整備していく。職員配置等是有資格者等支援の質を高める増員及び若手職員等の採用を行い人材育成に力を入れる。

**B. 業務改善等**

保護者様と密度高い話し合いと情報共有により、支援の質的向上を図る機会が増え業務改善を図ることが出来た。職員の支援力向上の研修についてはコロナの影響もあり効果を上げられなかった。業務の無駄排除、改善に取り組む。

**C. 児童への適切な支援の提供**

適切なアセスメント、保護者様とのニーズ・課題の分析と共有に基づいた個別支援計画の作成、更に関係事業所等との連携による支援計画の深耕により支援対応が大幅に進んだ。関係事業所、行政等との連携による支援力向上を強化する。

**D. 関係機関や保護者との連携**

自立支援協議会、子ども部会への参加、行政機関との情報交換、他のデイサービス事業所との連携等を更に進める。計画相談事業所との連携は支援力強化に繋がり効果大きく連携力を更に高める。療育センター、学校、医療機関、発達支援センター等の専門機関との連携を強化する。地域ケアプラズ、地区社協、地域自治会等、地域との連携を増やしていく。

**E. 保護者への説明責任等**

毎日の連絡ノート、ブログでの活動情報、いっぱい通信による月次情報、ホームページ等での広範な情報等の発信を強化し、課題共有と解決に支援の輪を高め信頼関係を深める。保護者会等を開催し保護者同士の連携を支援していく。

**F. 非常時等の対応** 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアル等を整備し、保護者や職員に

**A. 環境・体制整備**

建物はバリアフリー等が十分とは言えない。2階は狭く、安全確保に気をつけて欲しい。飛び出し防止安全柵の新設、静養個室の新規増設、送迎車駐車場の整備等安全面での改善がなされ有り難い。今後とも出来る限りのバリアフリー等安全対策の環境改善を図って頂きたい。

**B. 児童への適切な支援の提供**

屋外活動、体を動かす機会を多く設け実施してくれ有り難い。雨天時の室内活動等の工夫を更に考えて欲しい。屋内活動のプログラム等は固定化しないような工夫が必要と思います。夏休み等長期休暇に種々の楽しい企画を設け、実施し子ども達も大変喜んでいる。子供が気づかなかった得意な事や課題を優しく声かけ、サポートして頂く暖かい日々の支援に感謝しています。親子共に支えて頂いています。他の児童クラブや障がいのない子供との活動の機会等は特に求めていませんが、有れば尚良いと思います。

**C. 保護者への説明等、事業所からの情報発信等**

連絡ノートやブログ等で子ども達の活動の様子を知ることが出来て良い。いっぱい通信での職員の配置状況や変化等の通知は有り難い、更に色々な記事、情報を楽しみにしている。茶話会等、保護者同士の連携支援の場がもっと設けられることを期待します。卒業後の交流機会もあると尚良い。以前の茶話会は楽しかったです。このコロナ禍が落ち着いた頃に再開されるよう期待しています。

**D. 非常時等の対応**

緊急時対応マニュアル、防犯・避難訓練マニュアル、感染症対応マニュアル等が見れるようにして欲しい。毎月実施している子ども達の避難訓練は非常時に役立ちとても良い活動だと思います。今後とも続けて頂きたいと思います。

**E. 満足度**

いつも有り難うございます。子どもは、いっぱいの利用をとっても楽しみにしています。事業所の暖かい親身な支援にはとても満足しています。



事業所内での分析

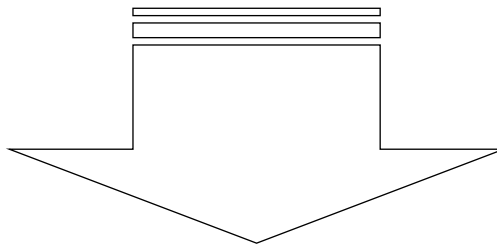
【共通点】

屋外の活動には、一定の評価と賛同があり日常の生活リズムを整え、体力健康増進に必要なとの共通認識が確認されています。今後とも継続していきます。子ども達一人一人の個性と能力を高めていく日々の支援のあり方を保護者の方々は大きく期待している事が再確認されました。事業所の活動内容、情報発信を高める事への期待が確認されています。保護者様との交流機会の必要性と継続再開を再確認し具体化を進めます。今年度はコロナ禍でこのような活動が全く出来なかったこと申し訳なく思っています。

【相違点】

感染症対応、自然災害等の緊急時対応等、安全面への期待感が強く、日常の対応策実施、定期的訓練の実施等を確実にすることが求められています。又、様々な機会を通じ、こちらからの情報発信、保護者様支援・連携を高めると活動が必要です。一層のご理解を頂くための活動に務めると共に、日々の支援内容についての率直なご要望、ご意見を頂けるための施策、機会を増やすよう努めます。

分析・検討してみたて…



事業所の強み

- A. 放課後等デイサービス制度が出来る前から支援している職員が多く、子ども達の成長変化に合わせた継続した支援と、これからの成長に見通しを持って関係性を深めていく支援が出来ている。
- B. 小学低学年等からの長い支援の中で保護者様との関係性が継続、高められ、抱えている課題、解決等の情報共有を高め、保護者様と連携した深い支援が出来ている。
- C. 経験豊かな職員（児童指導員等）を多数配置しており、日々の活動での子ども達への人員配置比率が高く、安心・安全な環境の中できめ細かな支援サービスの提供が出来ている。
- D. 長い運営実績の中で、関係機関との連携体制が出来て広範な支援が可能である。

事業所の改善点

- A. 施設が古く、設備面を含め更新、改造、改善等の工夫と安全確保の実施が必要。
- B. 非常時、災害時等のマニュアル整備と内部への研修による理解の共有、外部への周知が必要。有事の際、確実に活動出来るまでの日頃の訓練と技術習得の継続実施が必要。
- C. 支援への専門的知識等習得と現場対応の高度化の研修等機会の確保。計画的な人材育成、専門知識を持った有資格者の確保が急務。特に、若手職員の計画的採用が急務。
- D. 保護者様、外部関係機関との連携支援活動を推進するための情報発信力の整備・強化と、それに伴う情報ネットワークの見直しと再構築が急務である。
- E. 保護者様との情報・課題共有の交流機会の場（卒業生、就学前児童を含む）作り。

## 事業所の改善への取り組み

- A. 子ども達、保護者様についての気づき、情報等についての日々の職員間の話合い強化と情報共有および支援活動の一層の推進を強化する。
- B. 保護者様との話し合い機会を増やし、保護者様が抱えている課題解決に積極的に係わることで関係性を深め、保護者様への支援活動を高める。
- C. 計画相談事業所との連携活動を深めることにより、子ども達、保護者様の情報深耕と関係性を高め、より高い課題解決への支援に繋げる。
- D. 保護者様との繋がりを深めるための場作り、茶話会等イベント開催の企画立案と実施を継続する。実施に当たっては、現役、卒業生、就学前児童保護者様等の交流の場を考える。
- E. 外部関係機関と連携支援活動の輪を広め、高めるため、地域ケアプラザ、地域社会福祉協議会、自治会、地域訓練会、各行政機関等、地域との連携を推進する。又、他の放課後等デイサービス、計画相談事業所等との相互連携活動を推進強化する。
- F. 保護者、外部支援関係機関への情報発信力を強化し、「いっぱい事業」の知名度向上と、一層の理解を高めて頂くための情報ネットワークの見直しと強化を進める。開設した放課後等デイサービス事業単独のホームページを進化させる。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

本年度の自己評価はコロナ禍等の継続により一時停滞感があったが、このような状況は今後とも継続するとの認識に改め、現環境において事業所として取るべき新たな改善認識による支援力の質的向上、強化に立ち向かうという、より高く、広い支援を行っていくことの重要性と使命を再認識し、その目標を再確認致しました。焦ることなく、着実に目標実現に向け職員全員で邁進して参りたいと決意を新たに致しました。

令和3年5月20日

事業所名 いっぱい放課後等デイサービス

担当者：管理者 岩田充史、副管理者 鈴木葉子、統括 竹下